



市民のために複合型  
スケートパークを！  
滝沢 一成（政新クラブ）



問／上越アクティブスポーツ協会が長年切望している複合型スケートパークの建設を進める時が来ている。

答／協会との勉強会で、近年のアクティブスポーツへの注目や人気の高まり、施設利用者数の急激な増加、手作りの設備は消耗が早いですが既製品は高価で更新が難しいこと、人的体制面の苦勞など現状を聞き、公設施設整備の必要性を認識した。しかし、次期財政計画の策定に当たり、歳出超過が見込まれ、「アーバンスポーツ施設を含む新たなスポーツ施設の整備」は、規模や財源等の検討が必要とし、計画掲載を見送った。

問／協会の皆さんは創設以来9年間、自分たちで施設を借り、手作りで設備を作り、会員を増やしてきた。若者向けという想定を超え、小さな子供からお年寄りまでファミリーで楽しめる広がりを見せている。しかし、あまりにも長く行政が応援してくれないため、彼らはこのまちに失望し始めている。彼らの努力をどう見ているのか。ここでやめてしまうと、せっかく芽吹いた機運を潰すことになる。

答／財政計画への登載見送りをもって計画期間中に実施しないということではなく、先々の財政状況の見通しを立てた上で早期の整備を図っていききたい。引き続き、関係者との意見交換を行いながら、具体化の検討を進めていく。



新年度予算には中川  
市長の骨太政策無し！  
宮越 馨（無所属）



問／合併後20年近くが経過し、人口も著しく減少した。合併を見直して、中郷区を再編するともに、頸北及び東頸にブロック制を導入して支所を置き、副市長を配置することで、行政効率と住民サービスの向上を図るべきだ。

答／市域の見直しや、ブロック制の導入については考えていない。現在、地域の団体や総合事務所まちづくりセンター、区域のあり方について、総合的に検討しているので、住民との意見交換を進めていく中で参考としていきたい。

問／少子化対策の一環として、第3子以降の子を持つ世帯の住民税の減免、18歳までの医療費の無料化、高卒までの学費減免など、市独自対策を講じてはどうか。

答／人的支援と経済的支援を組み合わせた総合的な子育て支援を検討しており、第3子以降の子を持つ世帯への減免措置等の実施の考えはないが、今後の子育て環境の変化を注視し、時宜に合った支援策を検討していく。

問／ＩＴ人材育成のため、県立有恒高等学校を活用し、ＩＴ高等専門学校を創設すべきである。

答／令和5年度はＩＴ事業者と連携し、高校生のＩＴ講座などを実施する。高等専門学校創設に取り組む予定はないが、ＩＴ事業者への人材バンクとなるような高等教育機関のあり方を検討する中で、情報収集や研究をしていきたい。

### 議員辞職のお知らせ

牧田正樹議員が、一身上の都合により令和5年1月31日をもって辞職されました。

### 次の定例会は

令和5年 6月6日(火)～

総括質疑	6月6日(火)
委員会	6月7日(水)～12日(月)
一般質問	6月13日(火)～16日(金)
採決	6月20日(火)

※日程が変更となる場合は、ホームページ等でお知らせします。

### 編集後記

今号では、市民の皆さんとの意見交換会や、3月定例会での新年度予算案審議についてピックアップしました。手にとっていただきありがとうございます。今後もより良い紙面づくりに向けて努力してまいりますので、ご意見、ご要望お待ちしております。

広報広聴委員会 山田忠晴

次号は、令和5年7月25日発行です。